

公共交通機関での乗客数リアルタイム計測ソリューション

概要

日々の業務を最適化し、コストを削減し、収益を増加させる一業界業種を問わず企業にとって共通の目標ではないでしょうか。これを達成するには、重要な決定をする際に判断基準となるデータを収集する必要があります。しかしデータの収集方法は、時代の流れに合わせて進化していかなければなりません。大量のデータを収集しても、意思決定プロセスに適用される前にデータが古くなってしまふ、というのはよくあることです。市場で競争力を維持するためには、即時に必要なアクションを起こせるよう、リアルタイムのデータ収集をすることが必須となってきています。

課題

この傾向は交通業界でも例外ではありません。公共交通機関において運用最適化のためにタイムリーな意思決定を行うには、リアルタイムのデータが不可欠です。しかしどのようなデータを重視するかを決め、それをどのように収集し、リアルタイムで共有して効果を高めるか、が課題となります。

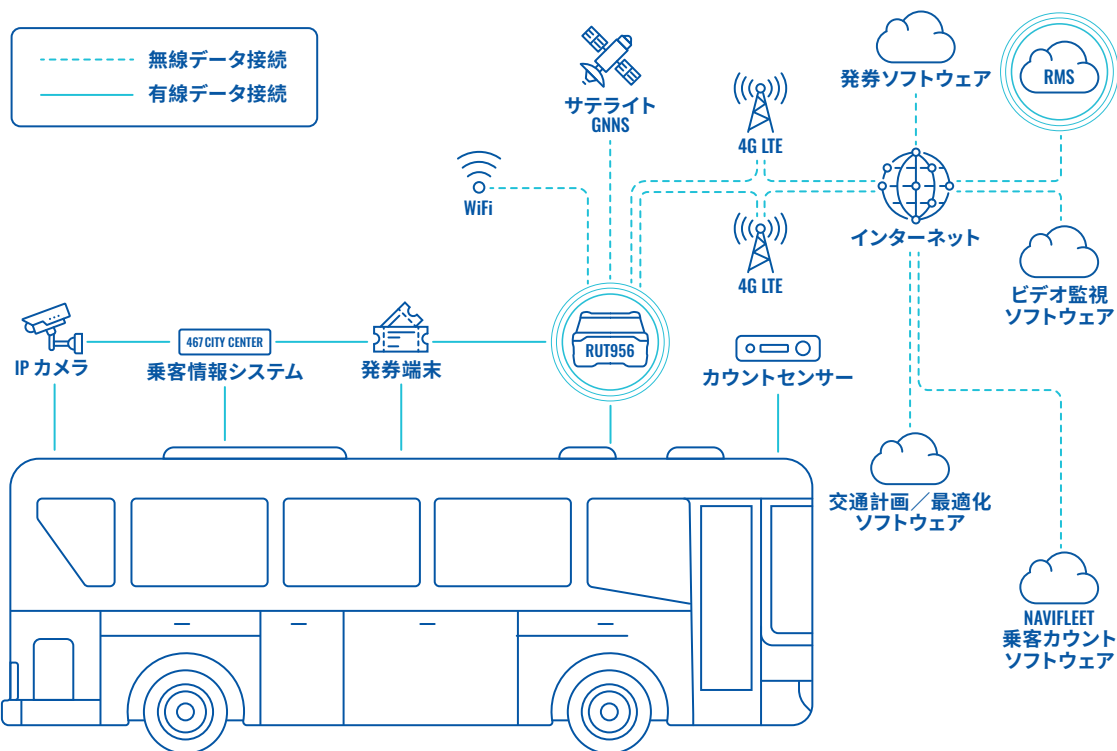
交通機関の運行頻度を最適化する上でもっとも重要な要素は乗客数です。リアルタイムで乗客数のデータを取得できればその時間になにが起こっているかを正確に把握し、迅速に調整を行うことができます。たとえば、混雑を避けるために追加のバスを走らせるなどのアクションをすぐにとることができれば、顧客体験の向上にもつながるでしょう。でも、このソリューションは実際にどのような仕組みになっているのでしょうか？

常に移動しつづける車両にリアルタイムでデータを収集／送信できるシステムを導入するには、高機能なカウント機器やクラウドベースのアプリケーションはもちろん、信頼できる接続ソリューションが必須です。

この事例のパートナー様 EcoTelematics Group

「EcoTelematics Group Oy」社は、旅客輸送業界向けソリューションの開発と組み込みに特化したフィンランドの企業様です。公共交通運用においてのコスト削減と業務効率化のための革新的なプロジェクトを推進されています。

トポロジ



ソリューション

「NaviFleet APC (自動乗客カウント)」ソリューションは、ネットワークに当社の4G/LTEルーター「RUT956」を使用しています。乗客カウントセンサーは「RUT956」にイーサネットインターフェースを介して接続され、NaviFleet APCファームウェアを使用して、リアルタイムのデータ収集を実行します。NaviFleet APCファームウェアは、最も知名度の高いこの乗客数カウントセンサーと互換性があります。

RutOS OpenWrtと統合したNaviFleet APCファームウェアは、ネットワーク継続のためにWi-Fiまたは4Gを介して「NaviFleetクラウドサーバ・ソフトウェア」に乗客数情報を送信します。送信されるデータには、正確なGPS追跡情報/ジオフェンシングデータ/走行距離/走行時間/停車時間/乗客フローデータが含まれます。

高機能NaviFleet APCファームウェアには、ビデオIPカメラ/呼気分析装置/乗客情報システム/発券端末などの追加デバイスを接続することも可能です。

「RUT955」の使用メリット

- ・コスト効率—NaviFleet APCと「RUT956」を組み合わせることで、他と比べて非常に競争力のある価格帯のソリューションをご提供できます。
- ・ソリューション全体の容易な管理—クラウドベースの管理プラットフォームにより、キャプティブポータル管理、カウントセンサーへの接続、位置追跡が容易になります。
- ・多様な接続オプション—「RUT956」は、信頼性と安全性を兼ね備えたLTE Cat 4/Wi-Fi/イーサネット/GPSの接続オプションを組み合わせています。
- ・OpenWRTベースのRutOS—市場要件の増大に対応し、様々な便利なアプリケーションを作成することができます。

テルトニカ・ネットワークス製品をおすすめする理由

「EcoTelematics Group Oy」社に、当社の「RUT956」を選んだ理由について次のようなコメントをいただきました。
 「テルトニカ・ネットワークスのRutOSソフトウェアで『RUT956』用の特別なファームウェアを作成し、『NaviFleet 乗客カウントソリューション』とスムーズに統合することができました。当社とテルトニカ・ネットワークスの協業で、乗客数カウントソリューションを使用する公共バス事業者と公共交通機関を支援し、乗客へのサービスを向上させ、業務を最適化を実現することができています。」

